医院承継の今 ⑤

エニータイムヘルスケア
コンサルティング株式会社
代表取締役社長　牟田修

成功と失敗の要因はどこに 11人目で成約に至った例も

今回は事業承継での成功と失敗を紹介します。

成功するか否かは、来院患者数と医業収支の状況にかなり左右されます。医業収入が出来れば年間5000万円以上あれば、承継の可能性はグッと上がります。さらに、建物や機器の経年数も大きなポイントです。通勤のこともあり開業地にも関心が高いです。

開業を目指す先生の年齢は30歳代が多く、開業という夢を抱いて案件を見に来られます。譲渡側の意向とは関係なく厳しい目でチェックされるため、これまで延々と築いてきたクリニックを他人から批判されるような感じを受けることも少なくありません。感情を逆なでされますが、やはりここは我慢して、患者さんを引き継ぐことを第一に考えて冷静に対応されることをお勧めします。

実例をお話します。大阪府下のクリニック（医科）は医業収入が約8500万円、内収益は約3500万円を上げていました。院長は70歳をもって引退すると宣言し、承継先の紹介を依頼されました。

患者さんも多いことから譲受を希望する先生が10人現れましたが、全員辞退をされました。最大の理由は、譲渡する院長が培ってきた患者さんとの信頼関係や親密度を自分も築けられるか不安になったことが挙げられます。また、建物の老朽化、機器の更新の必要性、2階のテナントでエレベーターがないこともマイナスに作用しました。

結局、このクリニックの承継は11人目で着地しました。11人目は訪問を中心に運営している法人でした。現在継続して診療していますが、診療所名は以前のままになっています。元院長とは全く関係がないクリニックですが、患者さんはそうは思いません。クリニックの名称使用を認めたものの、契約書で使用期限を定めておくべきでした。弁護士を通じて契約内容をチェックしましたが、この点だけは反省しています。

今、自分のクリニックをどう畳むかご検討中の先生方にお伝えしたのは、①早い時期から閉める時期を決める②その相談を専門の会社と相談する③欲張らないこと――だと思います。

新規指導対策講習会

参加者「気が楽になった」

社保研究部は1月27日、「新規個別指導対策講習会～最新の集団的個別指導で技官が強調していたこととは～」をテーマに講習会を開催した。安積中社保研究部員が講師を務め23人が参加した。

安積氏は点数を基準に選定される集団的個別指導では、「保険医とは保険診療のルールを理解した上で診療している」ことが前提になっているとし、算定要件の正確な理解の必要性について解説した。指導の場で問われる算定要件については、「保険診療確認事項リスト（歯科）」を確認しカルテ記載などの徹底を促した。また、高点数にさせないために実際の治療まで算定を自粛しないよう注意を促した。

最近の個別指導の選定の傾向は従業員や患者などからの情報提供が主であることや、患者自身が診療内容をマイナポータルサイトで随時確認できることから、診療内容の丁寧な説明が今後一層問われてくると強調した。

質疑では、継続管理と初診の考え方や、保険医登録の在り方、指導前にすべきこと、施設基準要件を満たさなくなった場合の取り扱いなど広範な質問が寄せられ、安積氏は丁寧に回答した。参加者からは「指導がただただ怖かったが、指導内容を理解すると気が楽になった。しっかりカルテを記載していきたい」と感想が寄せられた。

1月度生涯研修講座

実践的なポイントを解説

臨床学術部は1月28日、「総義歯臨床のチェックポイント―特に総義歯の調整について」をテーマに生涯研修講座を開催した。岡崎定司氏（大阪歯科大学名誉教授・写真）が講師を務めた。

岡崎氏は多くの実践的ポイントを解説した。

1義歯の調整、2義歯の製作、3特殊な義歯、4義歯用安定剤の4項目。義歯の調整では、①粘膜面の調整、②咬合調整、総義歯では、有歯顎に比べ、最大咬合力を発揮する位置が、小臼歯部に移行するので、歯槽頂間線法則に従い片側性の咬合平衡を維持すると頬側咬頭の削合によりΩ型の人工歯歯列となる。安静時の中切歯切端縁から上唇下縁までの露出程度は若年者女性＋3㎜男性±2㎜中年＋1・5㎜高齢者0から－2㎜となる。適正な咬合高径の設定が大切。義歯は異物なので、固有口腔を広くし、必要最低限の大きさでなければならない。義歯の製作では、作業工程が多いほどエラーが多くなり咬合高径が高くなる傾向がある。特殊な義歯では、嚥下補助床、顎補綴について解説された。

（臨床学術部・近藤正）

保団連大会　発言要旨（1面のつづき）

国保統一化やめよ

矢部あづさ代議員

矢部あづさ代議員

維新府政下で、大阪府の国保料は2023年度、年収400万円の4人世帯の試算で年間約50万円超という、全国最悪水準の保険料となった。高すぎる国保料に対し、府内の各自治体から現在も強い見直しの声が上がっている。

維新市政ではない寝屋川市では、府の国保統一方針を批判する旨のチラシを、全ての市内国保加入者に送付する事態まで起こっている。

協会は12月14日に取り組んだ大阪府との交渉で、保険料高騰の原因である国保の統一化をやめること、保険料を下げるため一般会計法定外繰り入れを行うことを要望した。

当日、府の担当者から、法定外繰り入れを検討する旨の回答を引き出した。様々な現場からの声を突きつけた運動の成果である。

物価高騰等による大阪府民・市民の生活苦をよそに、カジノを跡地利用にもくろんだ関西・大阪万博など、不要な大型公共事業に府税・市税を投入することは大きな問題である。

住民の生活を守り、健康と安全を優先に考える立場から、大阪・関西万博は中止するしかない。

大阪府歯科保険医協会は、引き続き、社保協やさまざまな団体と共同し、府民の生活を守る運動に取り組む。

発売以来、大きな反響!!

保険医が選んだ本当に必要な防災セット

PRAKTIKER
プラクティカ

帰宅／避難型（1DAY）

沿岸部及び、津波の危機を想定される医院向け。東日本大震災でもみられたように即避難の緊急性を要す際を想定した防災セット。避難後1日を過ごせるように設計。

販売価格
39,800円（税別・送料込み）
（税込43,780円）

待機／滞在型（2DAY）

内陸部及び、生活インフラの危機を想定される医院向け。交通網の麻痺時などを想定し、医院や簡易の避難先に1日～2日とどまることを想定し設計された防災セット。

販売価格
45,000円（税別・送料込み）
（税込49,500円）

（オプション）女性用セット

女性事務局員の意見を取り入れながら、避難時に必要な女性用セットをご用意いたしました。

販売価格
3,000円（税別）
（税込3,300円）

保険医が選んだ、「保険医のための」防災セット

南海トラフ大地震や各地での災害時に備えるため、以前より会員ニーズの高かった防災グッズを、会員・組合員の“声”に基づきオリジナルで開発。
防災士の資格を持つ事務局が担当しこだわり抜いた、被災時に本当に必要なものを備えた防災セットが誕生しました。

◎どの防災セットよりも「携帯の充電を切らさない」を意識。
◎「味・質」に、とことんこだわった防災食品。

各セットの内容物の詳細、フォームでのご注文は右記のQRを読み取ってください。
※QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です

大阪府保険医協同組合・M&D保険医ネットワーク
お問い合わせは TEL.06-6568-2741
担当：沖田（おきた）・廣川（ひろかわ）・寺内（てらうち）